



平成30年12月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成30年11月9日

上場会社名 株式会社 アイフィスジャパン
 コード番号 7833 URL <http://www.ifis.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役 (氏名) 大沢 和春
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理担当 (氏名) 大澤 弘毅
 四半期報告書提出予定日 平成30年11月12日
 配当支払開始予定日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東
 TEL 03-6825-1250

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年12月期第3四半期の連結業績(平成30年1月1日～平成30年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年12月期第3四半期	4,028	11.5	655	31.8	661	32.8	432	38.2
29年12月期第3四半期	3,612	7.0	497	14.3	498	15.9	312	14.8

(注) 包括利益 30年12月期第3四半期 429百万円 (37.0%) 29年12月期第3四半期 313百万円 (16.2%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年12月期第3四半期	44.75	
29年12月期第3四半期	32.39	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
30年12月期第3四半期	4,271	3,468	81.2	359.10
29年12月期	3,916	3,107	79.3	321.65

(参考) 自己資本 30年12月期第3四半期 3,468百万円 29年12月期 3,107百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年12月期		0.00		7.00	7.00
30年12月期		0.00			
30年12月期(予想)				8.00	8.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成30年12月期の連結業績予想(平成30年1月1日～平成30年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	5,300	7.8	800	17.1	800	16.9	507	16.8	52.48

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- | | |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| 以外の会計方針の変更 | : 無 |
| 会計上の見積りの変更 | : 無 |
| 修正再表示 | : 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	30年12月期3Q	10,242,000 株	29年12月期	10,242,000 株
期末自己株式数	30年12月期3Q	582,239 株	29年12月期	582,237 株
期中平均株式数(四半期累計)	30年12月期3Q	9,659,763 株	29年12月期3Q	9,659,763 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、企業収益の改善を背景に雇用・所得環境の改善の動きが継続しております。一方で、海外情勢では米中貿易摩擦への懸念などにより、先行き不透明な状況が続いております。当社事業と関連性が高い国内証券市場においては、昨年末から世界的な株高傾向が続いており、投資信託市場においては資金流入超過および、純資産総額の増加が継続しております。

このような状況の中、当社グループにおきましては、ファンドディスクロージャー事業、ITソリューション事業において順調に業績を伸ばしております。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は4,028百万円(前年同期比415百万円増、11.5%増)、営業利益は655百万円(前年同期比158百万円増、31.8%増)となりました。また、経常利益は661百万円(前年同期比163百万円増、32.8%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益は432百万円(前年同期比119百万円増、38.2%増)となりました。

セグメントの業績は以下のとおりであります。

<投資情報事業>

ネット証券会社に提供している個人投資家向けコンテンツの売上が好調に継続するとともに、大手証券会社向けレポート作成システムの機能追加、連結子会社である株式会社キャピタル・アイが提供する資本市場関係者向けリアルタイムニュース『キャピタルアイ・ニュース』も堅調に推移しております。

その結果、売上高は951百万円(前年同期比44百万円増、4.9%増)、営業利益は386百万円(前年同期比32百万円増、9.1%増)となりました。

<ドキュメントソリューション事業>

生命保険関連の印刷・物流サービスを中心に売上を伸ばしております。また連結子会社である株式会社アイコスの翻訳/通訳サービスについては、受注拡大により業績に寄与しております。

その結果、売上高は950百万円(前年同期比73百万円増、8.4%増)、営業利益は70百万円(前年同期比5百万円増、9.0%増)となりました。

<ファンドディスクロージャー事業>

投資信託市場全体の純資産総額は増加率に鈍化がみられますが、国内株式型やバランス型の投資信託を中心に比較的堅調に推移しており、これらの影響を受け、投資信託関連の印刷受注量は好調に推移しております。また、確定拠出年金関連については、ソリューションサービスが好調で業績に寄与しております。

その結果、売上高は1,460百万円(前年同期比183百万円増、14.4%増)、営業利益は378百万円(前年同期比47百万円増、14.4%増)となりました。

<ITソリューション事業>

主力事業である事業会社向けの受託開発を行っているビジネスソリューションの受注は、働き方改革などの環境要因の影響を受け、勤怠システム関連やVBマイグレーションの売上が当第3四半期連結累計期間の売上に寄与しております。また開発の生産性向上などによる収益性の向上が増益に寄与しております。

その結果、売上高は664百万円(前年同期比124百万円増、23.1%増)、営業利益は73百万円(前年同期比48百万円増、197.9%増)となりました。

<その他事業>

「データ化サービス」などの提供を推進しておりますが、事業拡大に苦戦を強いられております。

その結果、売上高は1百万円(前年同期比10百万円減、88.0%減)、営業損失は1百万円(前年同期は営業損失15百万円)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における資産合計は、前連結会計年度末に比べ355百万円増加し、4,271百万円となりました。

流動資産合計は480百万円増加し、3,532百万円となりました。主な要因は、現金及び預金が424百万円増加したことによるものであります。

固定資産合計は125百万円減少し、739百万円となりました。主な要因は、投資有価証券の償還により50百万円減少したことに加え、のれんの償却により43百万円減少したことによるものであります。

当第3四半期連結会計期間末における負債合計は、前連結会計年度末に比べ6百万円減少し、803百万円となりました。

流動負債は1百万円減少し、680百万円となりました。固定負債は4百万円減少し、122百万円となりました。

当第3四半期連結会計期間末における純資産合計は、前連結会計年度末に比べ361百万円増加し、3,468百万円となりました。主な要因は、親会社株主に帰属する四半期純利益432百万円の計上による増加と、剰余金の配当67百万円による減少であります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成30年7月27日公表の通期の連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成30年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,448,897	2,873,299
受取手形及び売掛金	473,615	518,629
仕掛品	50,182	62,766
その他	78,951	77,804
流動資産合計	3,051,646	3,532,499
固定資産		
有形固定資産	72,271	64,497
無形固定資産		
のれん	401,834	358,025
ソフトウェア	65,694	76,057
その他	21,775	6,869
無形固定資産合計	489,305	440,953
投資その他の資産	302,977	234,011
固定資産合計	864,554	739,462
資産合計	3,916,201	4,271,961
負債の部		
流動負債		
買掛金	226,678	207,873
未払法人税等	112,818	127,160
賞与引当金	18,021	50,334
その他	325,041	295,390
流動負債合計	682,559	680,758
固定負債		
退職給付に係る負債	16,505	12,265
その他	110,074	110,074
固定負債合計	126,580	122,339
負債合計	809,139	803,098
純資産の部		
株主資本		
資本金	382,510	382,510
資本剰余金	438,310	438,310
利益剰余金	2,352,553	2,717,230
自己株式	△77,928	△77,929
株主資本合計	3,095,444	3,460,120
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△182	△298
為替換算調整勘定	11,798	9,041
その他の包括利益累計額合計	11,616	8,742
純資産合計	3,107,061	3,468,862
負債純資産合計	3,916,201	4,271,961

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成29年1月1日 至平成29年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成30年1月1日 至平成30年9月30日)
売上高	3,612,947	4,028,558
売上原価	2,137,927	2,403,532
売上総利益	1,475,019	1,625,025
販売費及び一般管理費	977,801	969,782
営業利益	497,218	655,243
営業外収益		
受取利息	1,501	1,354
受取配当金	157	178
持分法による投資利益	995	2,220
為替差益	—	246
助成金収入	—	1,500
その他	760	525
営業外収益合計	3,415	6,024
営業外費用		
支払利息	8	—
為替差損	2,146	—
その他	373	15
営業外費用合計	2,527	15
経常利益	498,105	661,252
特別損失		
固定資産除却損	107	30
事務所移転費用	8,950	—
特別損失合計	9,058	30
税金等調整前四半期純利益	489,046	661,221
法人税、住民税及び事業税	167,156	232,658
法人税等調整額	8,981	△3,731
法人税等合計	176,138	228,926
四半期純利益	312,908	432,295
親会社株主に帰属する四半期純利益	312,908	432,295

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成29年1月1日 至平成29年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成30年1月1日 至平成30年9月30日)
四半期純利益	312,908	432,295
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	117	△116
持分法適用会社に対する持分相当額	413	△2,757
その他の包括利益合計	530	△2,873
四半期包括利益	313,439	429,421
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	313,439	429,421

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自平成29年1月1日至平成29年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注)3	合計	調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	投資情報 事業	ドキュメン トソリューション 事業	ファンドデ ィスクロー ジャー事業	I Tソリ ューショ ン事業				
売上高								
外部顧客への売上高	907,059	876,717	1,277,404	540,075	11,689	3,612,947	—	3,612,947
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	14,066	—	18,878	—	32,945	△32,945	—
計	907,059	890,784	1,277,404	558,954	11,689	3,645,892	△32,945	3,612,947
セグメント利益又は 損失(△)	354,158	65,025	330,664	24,619	△15,006	759,461	△262,243	497,218

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△262,243千円には、セグメント間取引消去△629千円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△261,614千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

3. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、データ化サービス等の事業を含んでおります。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成30年1月1日至平成30年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注)3	合計	調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	投資情報 事業	ドキュメン トソリューション 事業	ファンドデ ィスクロー ジャー事業	I Tソリ ューショ ン事業				
売上高								
外部顧客への売上高	951,482	950,051	1,460,966	664,661	1,397	4,028,558	—	4,028,558
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	15,882	—	41,022	—	56,904	△56,904	—
計	951,482	965,933	1,460,966	705,683	1,397	4,085,463	△56,904	4,028,558
セグメント利益又は 損失(△)	386,291	70,897	378,162	73,344	△1,742	906,951	△251,708	655,243

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△251,708千円には、セグメント間取引消去△493千円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△251,214千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

3. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、データ化サービス等の事業を含んでおります。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。